

縄文道通信第58号
縄文道ユートピア論
—実現可能な道程 No.1—

縄文道——武士道——未来道

一般社団法人縄文道研究所
copy right by jomondo
kenkyujo

縄文道—実現可能なユートピア論

ユートピア(UTOPIA)という言葉は理想郷、平和な世界の代名詞として世界中で使用されている。

この言葉は、英国の哲学者 トーマス・モアがユートピアという書籍を1516年著して一躍有名になった。

イメージとしては人類共通の唯一の価値観、思想であって平和な理想郷という解釈になると思う。

人類共通の普遍的なイメージで、トーマス・モアは「どこにも無い」理想郷として捉えた、彼の造語」でもある。

モアが描き出した理想国は、自由と規律を兼ね備えた共和国で、国民は人間の自然な姿を愛し、「戦争で得られた名誉程、不名誉なものは無いと」考えられている。

この理想郷的な社会が、日本列島で約14,000年続いた、新石器時代、即ち縄文時代に実現していたことは、この縄文道通信シリーズで再三述べてきた。人類の目指すべき理想郷を国連は2015年にSDG's —sustainable development goal 持続成長可能な社会—として17条を発表して世界にこの目標を2030年までに実現することを掲げた。

「縄文道」の商標登録を申請した時は、縄文文化の中に人類普遍の道と

日本人固有の道、大和の一道が2つあるとして申請した。

特許庁からの認可を受けて3年経過したが、突如人類を襲った新型コロナウイルス問題で、縄文道の掲げる普遍的な道が注目されるようになった。

それは、ウイルスという全人類への命と財産を奪いかねない危機、

生存への危機を、どの様に克服するかを問われているからだ

更に地球温暖化問題が益々深刻化することで、環境問題への

人類全体での取り組みの重要性が認識され始めた。

これは、日本の縄文時代には、我々祖先の縄文人は自然との共存、

共生という循環的な環境を維持し長期に平和を実現してきたことで、

歴史的に実証されていることだ。

更に母性が尊重されていた、diversityを実現し、富の配分が極めて

平等な社会が実現されていたことを強調したい。

それでは国連が2015年に提唱した17か条を以下に掲げながら

縄文道と比較してみよう。

SDG 's17 条

縄文道

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 貧困をなくそう | 富の平等性があった |
| 2. 飢餓をゼロに | 富の平等な分配 |
| 3. 全ての人に健康と福祉を | 自然と共存し、平和 |
| 4. 質の高い教育をみんなに | 五感が幼少から磨かれていた |
| 5. ジェンダー平等を実現しよう | 母性が尊重されていた |
| 6. 安全な水とトイレを世界に | 水に恵まれ自然循環で処理 |
| 7. エネルギーをみんなにクリーンに | 太陽の動きのままに火を使用 |
| 8. 働きがいも経済成長も | 自然と共存した働き方と工夫 |
| 9. 産業と技術革新の基礎をつくろう | 匠の道による衣食住への工夫 |
| 10. 人や国の不平等をなくそう | 富の平等性を村落共同体で維持 |
| 11. 住み続けられるまちづくりを | 1,000年以上永続する共同体 |
| 12. つくる責任、使う責任 | 自給自足で共同体で完結 |
| 13. 気候変動に具体的対策を | 自然と共存、共生する知恵 |
| 14. 海の豊かさを守ろう | 自然との一致による環境保全 |
| 15. 陸の豊かさを守ろう | 自然尊重と森林保護の精神 |
| 16. 平和と公正を全ての人に | 武器無き平和社会を実現 |
| 17. パートナーシップで目標を達成しよう | 村落共同体による連帯精神 |

上記の様にSDG 'sは国連の 193 か国の承認により 2030 年までに具体的に実現しようとする画期的な世界的な運動である。

又SDG'sの精神を反映した経営も、世界中でその重要性が唱えられている。縄文時代約 14,000 年の間に、日本では比較表に記載されているように、日本列島で実現していた社会でもある。

この歴史的事実は、哲学者梅原 猛 が主張するように、縄文文化は日本人の源流で基層、しかも現代に水脈で繋がる精神でもある。

又世界的歴史学者で、世界のベストセラーを著した、イスラエルのヘブライ大学教授ユバル・ノア・ハラリ博士が現代人への警告として

「人類は文明に慣らされ便利になったことで、五感が失われてしまった。

今こそ狩猟、漁労時代—縄文時代に回帰するべきだ。」と述べている。

筆者は縄文土器の迫力のある美に魅せられて縄文文化にハマって

約 30 年が経つ。今回新型コロナの影響で、人類が人間の生と死、

生き残りを考える時代に突入し、世界中が原点回帰の動きに入りつつあると感じる。

今こそ、SDG'sの先駆者の日本が、世界の先頭にたって、縄文道の精神を現代に活かして発言し実現に向かって行動できる国と確信する。

最後に読者の参考までに縄文道、新縄文人、縄文道経営の早見表を添付させて頂く。

完

縄文道通信第64号
縄文道 ユートピア論
—平和に就いて—

縄文道——武士道——未来道

一般社団法人縄文道研究所

Copyright by Jomondo Kenkyujo

縄文道ユートピア論 平和に就いて

縄文時代 約14,000年の遺跡、遺構から、毎年日本各地で膨大な様々な遺物の発掘が行われていることは良く知られている。

発掘技術も日進月歩で進歩し、コンピューターでの情報収集、データ蓄積の量も質も膨大になってきている。

現在までの考古学者の分析結果では、縄文人の人骨、又遺物からも人間を殺傷する武器は発掘されておらず、人骨にも武器での殺傷跡は検出されていない。殺傷率約1.8%で世界の4大文明地域(10数%と言われる)と比較しても圧倒的に低い。

武器のない戦争のない平和な時代が、日本列島で約14,000年も続いたことは、日本人の誇りでもあり、世界史的にも稀有なる平和な時代を形成してきたと言える。

世界の人類の歴史を見ると、文字が発見されて平和に就いて言及されている文献は聖書の旧約聖書と新約聖書に明確に見られる。

旧約聖書 民数記「主があなたに向けて、あなたに平和—シャローム—を贈るように」

新約聖書マタイ伝5章9節「平和を実現する人は幸いである。

その人たちは神の子と呼ばれる」

聖徳太子の17条の憲法 第1条は「和を以て貴しとする」

太子は仏教を取り入れ、ブツタの平和な思想を取り入れたものだ。

一切衆生の平等成仏の平等と平和思想に基づいて604年に制定した。

縄文道通信でも取り上げたトーマス・モア卿はユートピア論を1,516年に著した。

「ユートピア 理想郷 は 自由と規律を兼ね備えた共和国で、国民は人間の自然な姿を愛し戦争で得られた名誉ほど不名誉なものはないとして平和な世界を著した」 社会思想の第一級の古典と言われる。

更に19世紀にドイツ、プロイセンで傑出した哲学者、エンマニュエル・カントは「永久平和のために」という「世界の恒久平和はいかにしてもたらされるべきか」を著した。

この書籍は、その後の国際連合の創設にも繋がり、平和論を空論ではなく具体論を著した不朽の名著と言われる。幾つか名言を紹介したい。

「平和というのは全ての敵意が終わった状態をさしている」

「戦争状態とは武力によって正義を主張すると言う悲しむべき非常手段に過ぎない」

「常備軍はいずれ一切廃止されるべきだ」

世界には平和運動を推進する宗教組織、団体、個人は大変な数にのぼり、平和を希求し実践してきた偉大な人も多くいる。

現代においてはインドで生まれた2人の「愛と平和の実践者」を紹介したい。一人はマハトマ・ガンジーである。ガンジーの功績は言うまでもなく「無抵抗な平和実践主義者で、非暴力、不服従で、英国からの独立を成し遂げた」

彼の足跡は自叙伝も含め、多くの書籍で紹介されている。

もう一人はマザーテレサで、世界で最貧にあえぐ人々や病気に侵されている人々に命の館を作り生涯を捧げた聖女である。

多くの愛と祈りと平和へのメッセージは膨大な書籍となっているので省くが、ブッタと共にインドという国から出現したのは不思議なことだ。

最後に現実論に立ち返って世界中の国際紛争を調停してきた平和学の世界的権威、フィンランドのヨハン・ガルトウイング博士を紹介したい。博士は日本人への提言として「日本人のための平和論」という書籍も出版されている。(2017年にダイヤモンド社から発行)

ガルトウイング博士の平和論は「平和を戦争のない「消極的平和」を超える、貧困や抑圧、差別と言った構造的暴力の止揚を

目指す「積極的平和」を主張している」ことだ。

以上、縄文時代から始まった平和論を述べてきたが、現代の混沌とした紛争、戦争の絶えない世界にあって、日本は世界に向けて恒久平和を論じることが出来得る国の一つであると考え。それは、人類史にも稀な、約14,000年も継続させた平和な時代を形成して

きた平和遺伝子を持つ国柄であること。

・広島と長崎で2度の原爆の被爆体験を持つ国であること。

日本は世界の核兵器の増強競争・米中の覇権争い・周辺国から核兵器を向けられた厳しい状況下、平和な縄文遺伝子を基軸に、徹底した抑止論で平和を実践して行くべきであろうと思う。 完